

教育・文化スポーツ常任委員会 資料3-1
令和元年(2019年)8月9日(金)
教育委員会事務局幼小中教育課

平成31年度
全国学力・学習状況調査の結果の概要

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

平成31年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

1 実施概要

(1) 実施日 平成31年4月18日(木)

(2) 対象学年

小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

(3) 実施教科

①教科に関する調査〔国語、算数・数学、英語(中学校等)〕

※ 新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ、主として「知識」に関する問題(A問題)と、主として「活用」に関する問題(B問題)という区分を見直し、知識・活用が一体的に問われた。

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

・児童生徒に対する調査 ・学校に対する調査(Webによる回答)

(4) 実施校数 悉皆調査

	調査対象 学校数	調査実施校	
		18日に調査を 実施した学校数	19日以降に調査を 実施した学校数
市町立小学校	220	219	1
義務教育学校(前期課程)	1	1	0
特別支援学校(小学部)	3	3	0
市町立中学校	95	90	5
義務教育学校(後期課程)	1	1	0
県立中学校	3	3	0
特別支援学校(中学部)	3	3	0
公立学校計	326	326	

2 教科に関する調査の結果概要(公立)

○各教科における本県と全国の平均正答率(%)

	教科	平均正答率		全国の 平均正答率との差
		本県	全国	
小学校	国語(14問)	本県	61	-2.8
		全国	63.8	
	算数(14問)	本県	65	-1.6
		全国	66.6	
中学校	国語(10問)	本県	70	-2.8
		全国	72.8	
	数学(16問)	本県	57	-2.8
		全国	59.8	
	英語(21問*)	本県	55	-1.0
		全国	56.0	

* : 「話すこと」調査の問題数は含まない。

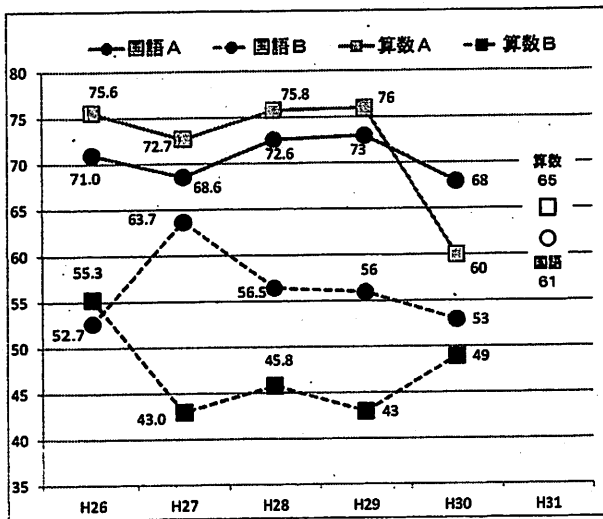
※ 「話すこと」調査の結果については、「参考値」とすることから、各都道府県への集計結果の提供は行われなかった。

○ 平成 26 年度から平成 31 年度全国学力・学習状況調査の平均正答率の推移

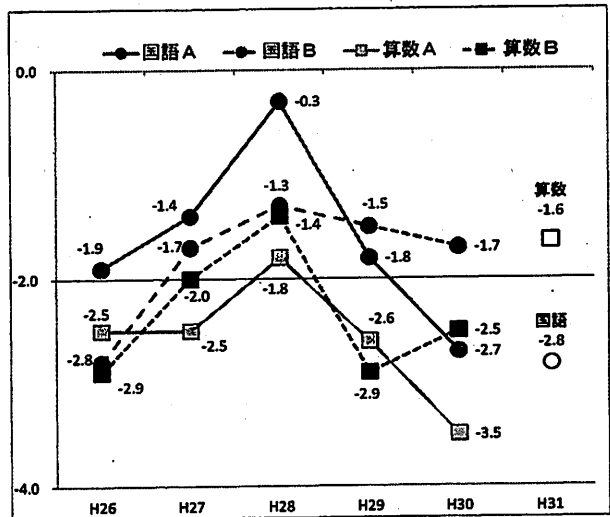
今年度は、主として「知識」に関する問題（A問題）と、主として「活用」に関する問題（B問題）という区分を見直し、知識・活用が一体的に出題されたことから、今年度の結果については折れ線で示していない。今年度の結果は、国語を○、算数・数学を□、英語を△で示している。

【小学校】

< 県平均正答率の経年変化 >

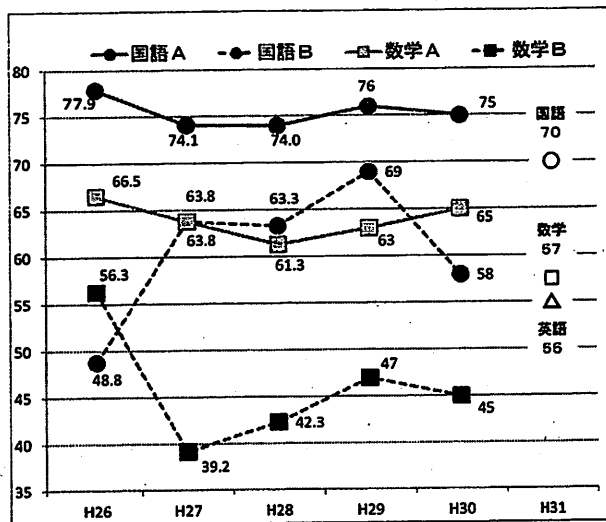


< 県平均正答率の全国との差 >

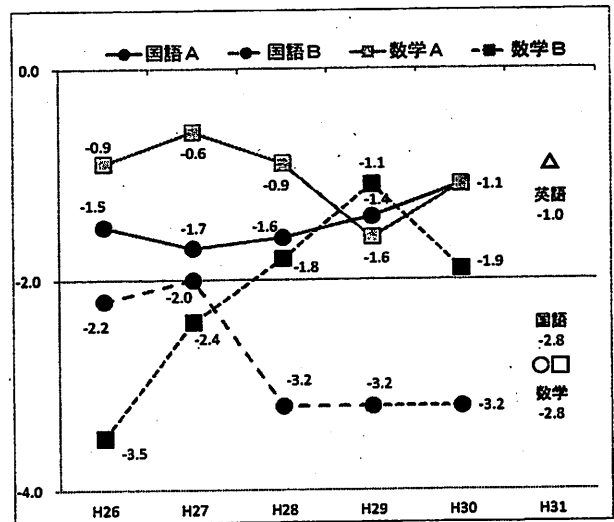


【中学校】

< 県平均正答率の経年変化 >



< 県平均正答率の全国との差 >



[県平均正答率の全国との差のグラフの見方]

- ・ 縦軸 0 を全国の平均正答率として、平成 26 年度から平成 30 年度までの各教科に関する調査結果の本県の平均正答率の差を折れ線で示している。
- ・ 平成 29 年度から、各都道府県の平均正答率は整数で示しており、全国の平均正答率との差も、その数値により示している。

【小学校】

<p>国 語</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」の領域で、全国平均を1.7ポイント下回った。 ・インタビューの場面で、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることに課題がある。</p> <p>○「書くこと」の領域で、全国平均を1.2ポイント下回った。 ・目的や意図に応じて、事実と感想、意見などを区別し、書くことに課題がある。</p> <p>○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国平均を5.1ポイント下回った。 ・既習の漢字（同音異義語等）を文の中で正しく使うことに課題がある。</p> <p>○「読むこと」の領域において、目的に応じて必要な内容を見付けることに改善の傾向が見られた。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>■「読み解く力に関連する問題」では、 相手の話の目的や意図は何か、聞き手に伝えたいことは何かなど話の内容を把握して、自分の考えと比べ整理し、考えをまとめていくことに課題がある。 また、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことに課題がある。</p> </div>
<p>算 数</p>	<p>○「量と測定」の領域では、全国平均を1.7ポイント下回った。 ・示された図形の面積を求める式を図形と関連付けて説明することに課題がある。また、単位量当たりの大きさを基にして得られた結果が条件にあてはまるかどうかを判断することに課題がある。</p> <p>○「数と計算」の領域では、全国平均を1.8ポイント下回った。 ・式や計算の意味を確実に理解し、言葉や数、式、図などを使って筋道を立てて表現することに課題がある。</p> <p>○全体を通して、記述式問題において正答率と無解答率に改善の傾向が見られた。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>■「読み解く力に関連する問題」では、 二つの棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取ったり、それらを関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、判断の理由を言葉や数を用いて記述したりすることに課題がある。</p> </div>

【中学校】

<p>国 語</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」の領域では、全国平均を2.8ポイント下回った。 ・話し合いでの話題や方向性を捉えて自分の考えをまとめることに課題がある。</p> <p>○「書くこと」の領域では、全国平均を3.6ポイント下回った。 ・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くことに課題がある。</p> <p>○「読むこと」の領域では、全国平均を3.1ポイント下回った。 ・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることに課題がある。 ・短歌などの中での言葉を取り上げて想像できる様子や心情などを書くとともに、想像したことについて感じたことや考えたことなど自分の考えをもつことに課題がある。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ■「読み解く力に関連する問題」では、 話し合いでの話題や方向性を理解し、それに応じて自分の考えを話すことに課題がある。 また、複数の実例やデータを示しながら、自分の考えに対してどの部分が根拠であるかが明確になるように書くことに課題がある。 さらに、文章を読んで要旨を捉えることや書き手のものの見方や考え方に共感したり、疑問をもったりすることなどを通して、新たなものの見方や考え方を発見したり、様々な視点から物事について考えたりすることに課題がある。 </p>
<p>数 学</p>	<p>○「数と式」、「資料の活用」の領域では、全国平均を4.1ポイント下回った。 ・「数と式」の領域においては、式を変形させて表現する目的や意味を読み取ることや、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を数学的に説明することに課題がみられた。</p> <p>○「図形」の領域では、全国平均を1.8ポイント下回った。 ・ある結論が成り立つ事柄について、図形の形を変えても同じ結論が成り立つための条件を見だし、数学的に表現することに課題がみられた。</p> <p>○「関数」の領域では、グラフから必要な情報を読み取り、問題に即して解釈することに改善の傾向が見られた。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ■「読み解く力に関連する問題」では、 「資料の活用」の領域において、資料の傾向を的確に捉え、判断した理由を度数や階級など数学的な表現を用いて説明することに課題がみられた。また、資料を読み取り、問題解決のためにどのような代表値を用いるべきかを判断することに課題がみられた。 </p>

- 「聞くこと」の領域では、全国平均を1.8ポイント下回った。
 - ・聞いて把握した内容について、適切に応じることに課題がある。
- 「読むこと」の領域では、全国平均を1.0ポイント下回った。
 - ・まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することに課題がある。
 - ・自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえ、適切に応じることに課題がある。
- 3人称単数現在時制の肯定文や否定文を正確に書くことなど短文で答える問題は全国平均を少し上回っているものの、全体的に基本的な語や文法事項等の知識やそれらを活用することに課題がある。特に、アドバイスや自分の考えなどをまとめて記述していくことに課題がある。

■「読み解く力に関連する問題」では、
読み手に正しく伝わるように、与えられたテーマについて考えを整理し、自分の考えに加えその理由を述べるなど、まとまりのある文章を書くことに課題がある。

3 質問紙調査の結果概要

○児童生徒質問紙調査

質問項目数は、小学校 58 項目（昨年度より 4 項目減）、中学校 69 項目（昨年度より 10 項目増）となった。

○学校質問紙調査

質問項目数は、小学校 64 項目（昨年度より 20 項目減）、中学校 80 項目（昨年度より 1 項目減）となった。

(1) 今年度調査で実施された「第Ⅱ期 学ぶ力向上滋賀プラン」における3つの視点の指標項目（児童生徒質問紙および学校質問紙）に対して、4つの選択肢の中から最も肯定的な回答（「当てはまる」「そう思う」「よく行った」「よくしている」）を選択した割合（%）を示した。

*表中（ ）内は、平成 29 年度の数値（平成 30 年度に実施されていない項目のため）

① 視点1「学びを実感できる授業づくり」

指標項目	校種		H30 調査 (H29 調査)*	H31 調査	前回調査との 比較
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか [児童生徒質問紙]	小	本県	25.5	29.8	+4.3
		全国	29.1	33.0	+3.9
	中	本県	22.7	27.3	+4.6
		全国	26.3	29.3	+3.0
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか [児童生徒質問紙]	小	本県	(43.2)	55.4	+12.2
		全国	(50.5)	59.5	+9.0
	中	本県	(24.7)	30.9	+6.2
		全国	(30.1)	37.3	+7.2
読書は好きですか [児童生徒質問紙]	小	本県	(47.5)	42.6	-4.9
		全国	(49.0)	44.3	-4.7
	中	本県	(41.4)	35.7	-5.7
		全国	(46.1)	38.9	-7.2

② 視点2「学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり」

指標項目	校種		H30 調査 (H29 調査)*	H31 調査	前回調査との 比較
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか [児童生徒質問紙]	小	本県	37.5	37.7	+0.2
		全国	42.5	43.1	+0.6
	中	本県	25.8	25.2	-0.6
		全国	32.5	31.3	-1.2
将来の夢や目標を持っていますか [児童生徒質問紙]	小	本県	68.0	63.2	-4.8
		全国	68.2	65.9	-2.3
	中	本県	39.9	39.2	-0.7
		全国	45.3	44.9	-0.4

学級の友達との間／生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか 〔児童生徒質問紙〕	小	本県	33.4	28.3	-5.1
		全国	34.7	30.3	-4.4
	中	本県	27.5	25.1	-2.4
		全国	32.4	28.3	-4.1
人が困っているときは、進んで助けていますか 〔児童生徒質問紙〕	小	本県	(35.3)	37.1	+1.8
		全国	(38.5)	40.4	+1.9
	中	本県	(30.0)	27.8	-2.2
		全国	(35.6)	34.6	-1.0
学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか 〔学校質問紙〕	小	本県	53.8	46.6	-7.2
		全国	61.8	57.8	-4.0
	中	本県	58.8	56.7	-2.1
		全国	68.3	63.8	-4.5

③ 視点3 「子どものために一丸となって取り組む学校づくり」

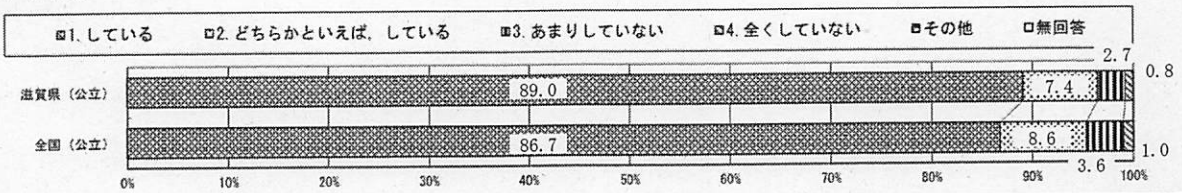
指標項目	校種		H30 調査	H31 調査	前回調査との比較
児童/生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか 〔学校質問紙〕	小	本県	17.5	18.4	+0.9
		全国	34.8	37.3	+2.5
	中	本県	18.6	22.7	+4.1
		全国	30.7	33.9	+3.2
学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか。〔学校質問紙〕	小	本県	39.0	30.5	-8.5
		全国	40.0	38.1	-1.9
	中	本県	25.5	16.5	-9.0
		全国	29.2	27.5	-1.7
近隣等の小/中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか 〔学校質問紙〕	小	本県	12.6	17.0	+4.4
		全国	18.7	22.8	+4.1
	中	本県	14.7	18.6	+3.9
		全国	25.5	26.1	+0.6

(2) 児童生徒の基本的な生活習慣および学習習慣に関する質問項目 (児童生徒質問紙)

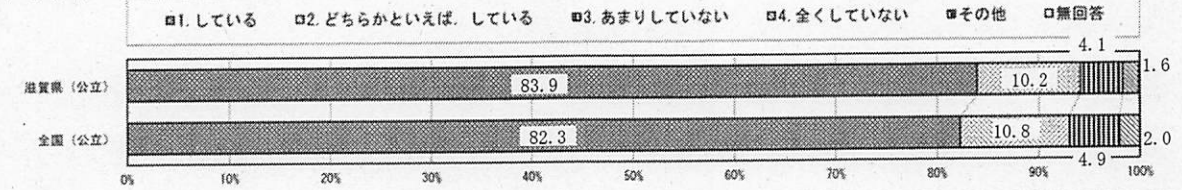
○朝食の摂取

朝食を毎日食べていますか

【小学校】



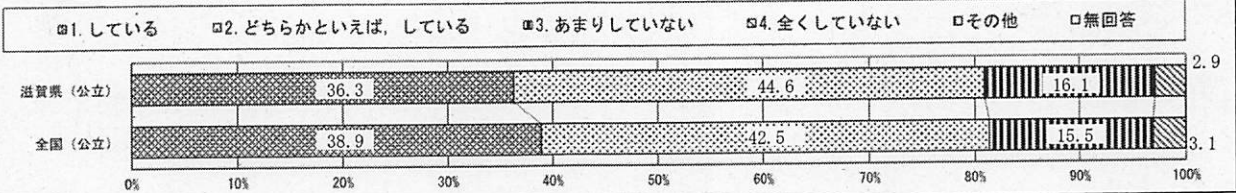
【中学校】



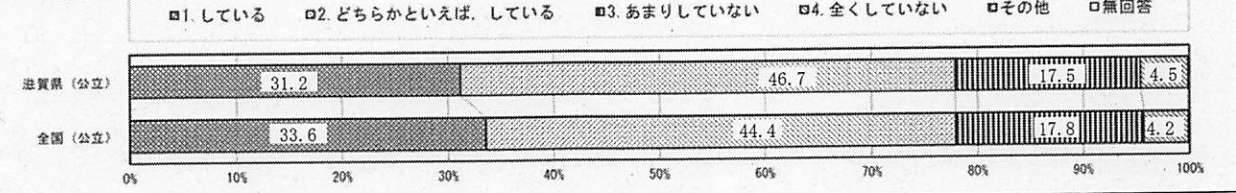
○就寝時刻

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

【小学校】



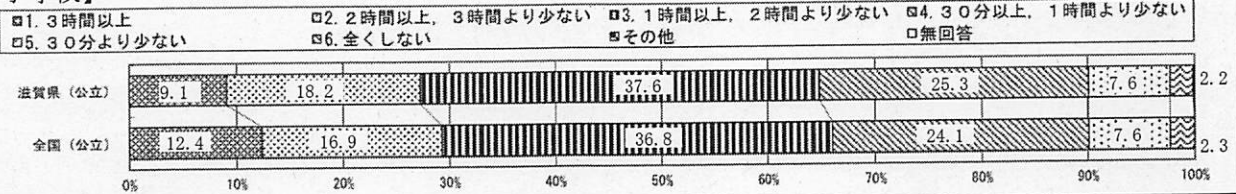
【中学校】



○家庭学習の時間

学校の授業時間以外に、普段 (月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか (学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)

【小学校】



【中学校】

